

なめがた市民100人委員会「第2班」議事概要

議論した基本目標	新たな価値を創造し郷土と社会の未来を切り拓く人間の育成
コーディネーター	熊井成和(構想日本特別研究員)
審議員	平山清直(構想日本)
説明担当者(自治体)	学校教育課、生涯学習課
日時	2021年 7月17日(土)16時10分から17時00分
その他	参加者数 会場 3名 オンライン: 0名 欠席者数 17名

総括

コーディネーター総括

- 子供達のコミュニケーション能力を高めることが大切ではないかという話。要因に家庭教育の低下があるかも。
- 地域や家庭で行ってきた教育を、行政がフォローしている。伝えているけど、伝わっていない。
- 子供達の力をつけることが大事。何をさせるか、大人たちが代わりにやっちゃって、成長を阻害していないか。
- 自分たちで調べてみるというのも大切。

協議の流れ(摘録)

協議しているテーマ①

生涯学習

コ)前回の振り返り。行方はこどもを重点として進めている。他には郷土の誇りを活用して進める。スタンプラリーなど。これらを進めるため児童館の設置などを提案したい。地域人材を育成するために、どういうことをやっているかを周知する。こども達にはスタンプラリー、高齢者には「昔取った杵柄」の活用。

こども中心の生涯学習について、どのように考えるか。

委)家庭教育はどのように考えているか

市)「こんにちは訪問」を行っている。これは家庭教育を推進するためのアウトリーチ型の活動。

家庭に困りごとを引き出して、関係機関に情報提供。また、入学前に健康診断を行う際、保護者に生活習慣などを確認する機会を設けている。

委)家庭教育でこなすべきことを、学校教育でやっているから大変。

市)家庭環境は変わっている。隣同士・近所の付き合いが希薄になっている。相談場所を増やしてあげることが大事。行政側がアプローチして早期の悩み発見につなげたい。悩みは多様なので、適切に関係機関につなげる。

コ)コミュニティが希薄化しているために、フォローしている。

委)コロナになってから、暴走族を見るようになった。明らかに増えているし、時間帯も夕方などに見かけるようになった。エネルギーが余っていて、悪い方に向かってしまったか。家庭環境、生活習慣などで上手にコントロールできる可能性があったのだろうか。

コ)家族が教育する力が弱まっている？

市)行方市に限らず、アウトリーチ型の支援は増えている

委)親の好みで食卓に並ぶ料理が違う。魚嫌いの親なら、こどもが魚を食べる機会がない。魚の骨をよけて食べる方法が身につかない。こういうことから家庭教育の弱まりを感じる。

コ)家庭教育の力をつけるための取り組みは？

市)アウトリーチ型教育の中で押し進めていく。

コ)前回道徳教育の話が出たが、つながるかもしれない。マナー・しつけはキーワード

コ)2つ目の特徴。リアル体験に力を入れている。座学だけでなく、体験。いきいきキャンプ。

委)昔と家庭のあり方が違う。祖父母と同居は減ってきた。親の教育が変わってきた。祖父母世代からしたら気になるところはいっぱいある。

コ)消防団にこどもたちが参加する機会？

委)それはない。

コ)3つ目の特徴は地域人教育。ふれあいスタディ。

委)一番大事なのはコミュニケーション能力を養うこと。大人があいさつするのも躊躇われる時代で、どのような機会を提供できるか。

コ)地域コミュニティがしっかりできれば、顔が見える関係になって不審者とか思われたい。「地域で育てる」ということの重要性。何か他にアイデアは？

委)こども達同士でネットワークが広がれば。

コ)年間の出生数って？

市)令和元年で166人。

コ)大人の生涯学習。歴史的資源の活用。地域に入り込んでやるには、講座とかが多い。

審)地域でどんなことができるか。長岡京市では子供たちを集めて防災の取り組みとして、マンションの空きスペースで防災用品だけで一晩過ごすという取り組みをした。キャンプ用品を使って過ごすのは子供たちを引き付ける。行政でそんなことはできないか。

委)子供たち中心でやるのは良い。昔はもう少し多かったと思う。

コ)対象者には連絡があるが、他の人へのアプローチが弱いという話があった。新規対象者の発掘ができていないということ。伝えたいけど伝わってない、というのも課題。

協議しているテーマ②

学校教育

コ)前回の振り返り。待機児童数0は衝撃的。素晴らしい。国際教育は人種にかかわらず付き合っていくことを子供のころから経験させておく。進学に関しては学校教育だけでは不安があ

委)：委員、コ)：コーディネーター、審)：審議員、市)：説明担当者

るので塾に通わしているという実態。リモート環境の活用の話も出た。

委)時代が変わって、パソコン・スマホばかり使っている。

市)SNS で事件に巻きこまれないように。

コ)スマホ中心だと何をやっているのか目に見えない。

委)視野が狭くなっている。一人で出かけられないで、仲良しの友達とばかり遊ぶので新しい人とコミュニケーションが取れない。周りの環境に溶け込む力が弱いんじゃないか。小学校がほかの学校と合併したりしたが、結局同じ学校出身のことばかり遊ぶといていた。多様な人と出会う機会が必要。

市)教育では主体的に動くことを身に着けさせる。グループ活動して、自分から発言するなど。その一つにコミュニケーションもある。

コ)行方市の人は、最初は言葉少なめだが、話せばどんどん話してくれる。最初が難しいのかな。

委)自分で経験して、考えるということがやっぱり大事。子供たちが主体となって何かをする、というのは SNS とかで意外とやっている。何をするのが大事では

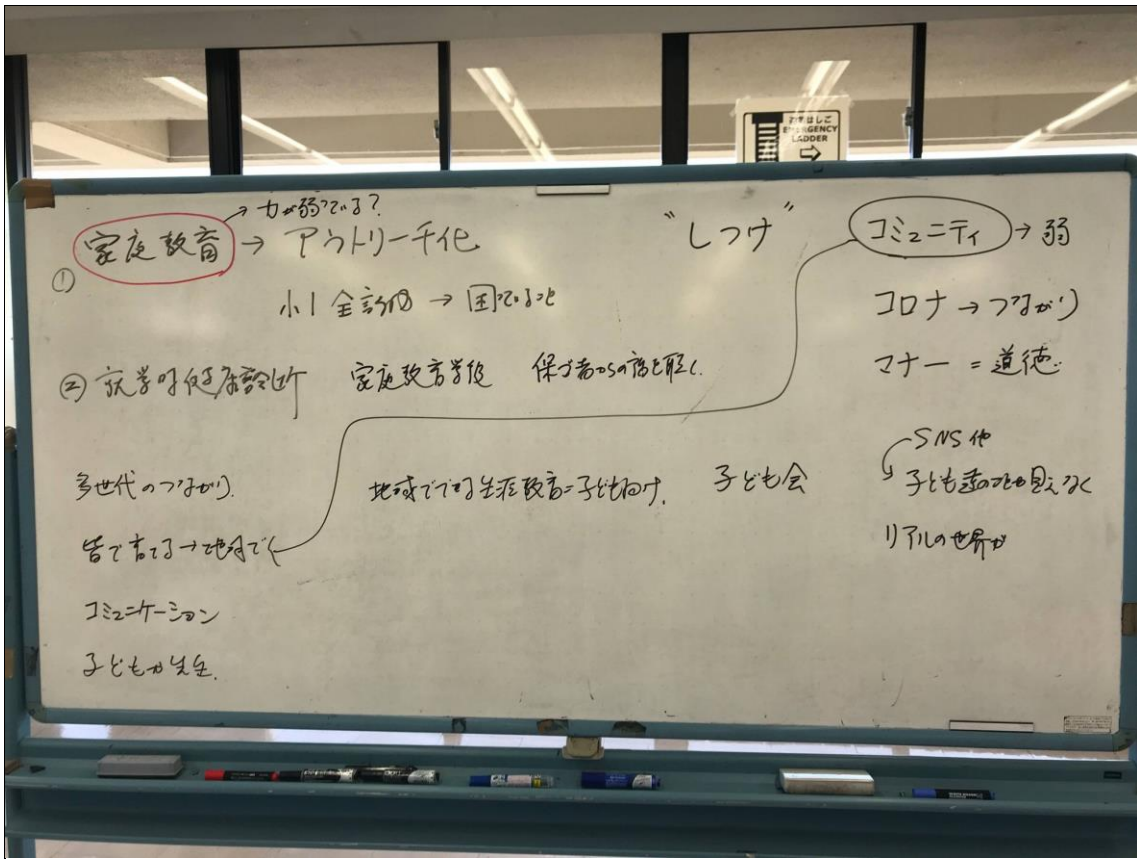
市)子供たちを守りすぎているのかも。子供たちの意欲を削いでいるのかも。

コ)子供たちが力をつけることは今後重視していただきたい。

市)プレイス・ブランディングという考え方がある。行方市の特定の場所をこども達の集まる場所にしていこうというもの。プレイスアタッチメントの活用とか。

コ)新しい用語が出た。みんなで勉強してみるもの良いと思う。家族に聞いてみるなど、してみたい。知っていただくことも大切なので。

ホワイトボードの写真(コーディネーターが議論をまとめた資料含む)



委) : 委員、コ) : コーディネーター、審) : 審議員、市) : 説明担当者

生涯学習

・ 人生100年時代の行方市の生涯学習、三つの特徴

① **“子どもたち”中心**：子どもたちの生活習慣改善やキャリアなど、“子どもたち”の生きる力を育むところに重点を置きつつ、保護者も含めた生涯学習を目指している。

② **リアル体験**：いきいきキャンプや職場体験など現場の肌感覚を学ぶためのリアル体験を大切にしている。

→リアル体験は重要。力を入れていくべき。

③ **地域人教育**：ふれあいスタディなど、地域の人を巻き込んで、進めている。

→子ども達がキャリアを考える上で、地域人材の活用は重要。強く進めてほしい。

→地域の人材が関わることで、子ども達の心の成長や子ども達が地域に留まる要因になる。

・ 郷土の誇りとしての歴史資源の活用

→郷土に誇りを持つためには必要。常陸国風土記の活用、地域に伝わるいわれなどは大切。

→しっかりとした整理と同時に、スタンプラリーなど今できることをやってはどうか。

生涯学習

市が考える施策

- ・社会全体で子どもたちの生きる力を育む
- ・基本的な生活習慣改善
- ・地域人材を活用した児童・生徒への支援（ボランティア活動など）

委員会からの提案 *行政・地域・市民の役割

これまで提案されたこと（モレはありませんか？）

- リアル体験を充実させるための **アイデア**
* 児童館の設置、農家での職場体験など
- 地域人材を充実させるための **アイデア**
* 口コミの活用など市が実施していることを市民に伝える。
- 歴史資源を子どもたちに知ってもらうための **アイデア**
* 歴史資源のスタンプラリーなど
- 歴史資源を広くPRするための **アイデア**
- 高齢者の生涯学習のための **アイデア**
* 昔取った杵柄作戦などが地域人材活用にもつながる。

新たなアイデアなど（新たなアイデアなどはありませんか？）

- 例：三つの特徴を更に伸ばすために必要なアイデア
-

学校教育

・ 公立幼稚園

- 待機児童数ゼロは衝撃。在宅勤務も進むので、移住・定住の強みになるのではないか。
- 利用者は減少傾向。保育園・認定こども園利用が増えている。
- 保育時間が短いのではないか。朝夕の預かりもある。

・ 国際教育

- 人種にかかわらず通じるものがあるという感覚を子ども時代から持つことが大切。
- 子ども達に行方を知ってもらうという視点もある。
- 外国の方にも地域人教育を担ってもらう時期がきているのではないか。

・ その他

- 道徳教育の充実が必要ではないか。
- 学校教育だけでは不安という声もある。塾に通わせている。

学校教育

市が考える施策

- ・確かな学力・豊かな心を育む教育の推進
- ・保護者ニーズに沿った公立幼稚園の適正配置
- ・ICT教育の推進
- ・多文化共生社会の実現に向けた学習と地域活動の推進

委員会からの提案 * 行政・地域・市民の役割

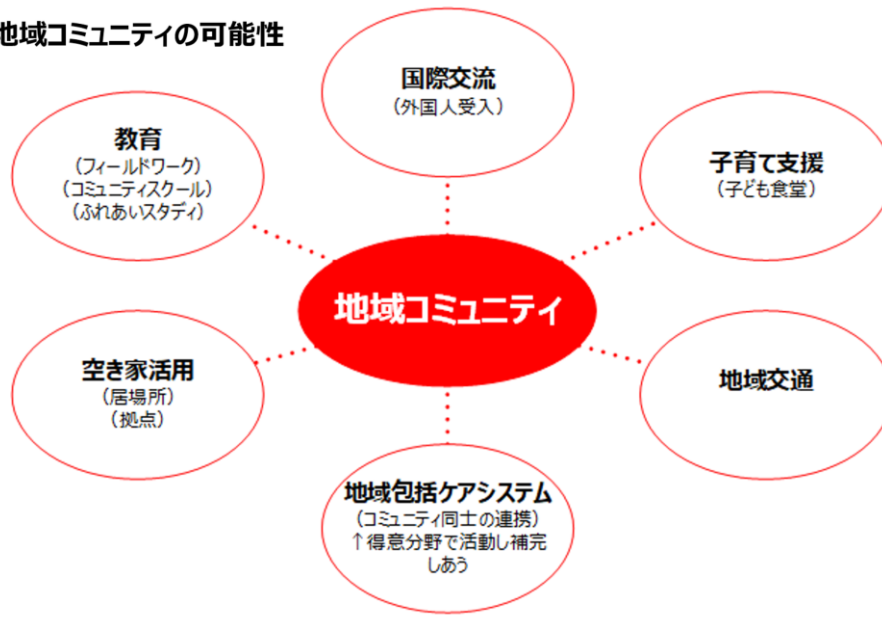
これまでに提案されたこと (モレはありませんか?)

- 待機児童数ゼロをアピールするための **アイデア**
- 人種にかかわらず通じるものがあるという感覚を子ども時代から持つための **アイデア**
- 学習塾が少ないという不安に対応する **アイデア**
 - * 都心部との差をなくしたリモート環境の活用
-

新たに提案すること (新たなアイデアなどはありませんか?)

- 例：ICT教育の推進のための具体的アイデア
- 例：道徳教育の可能性に関するアイデア
-
-

拡がる地域コミュニティの可能性



©hirayama